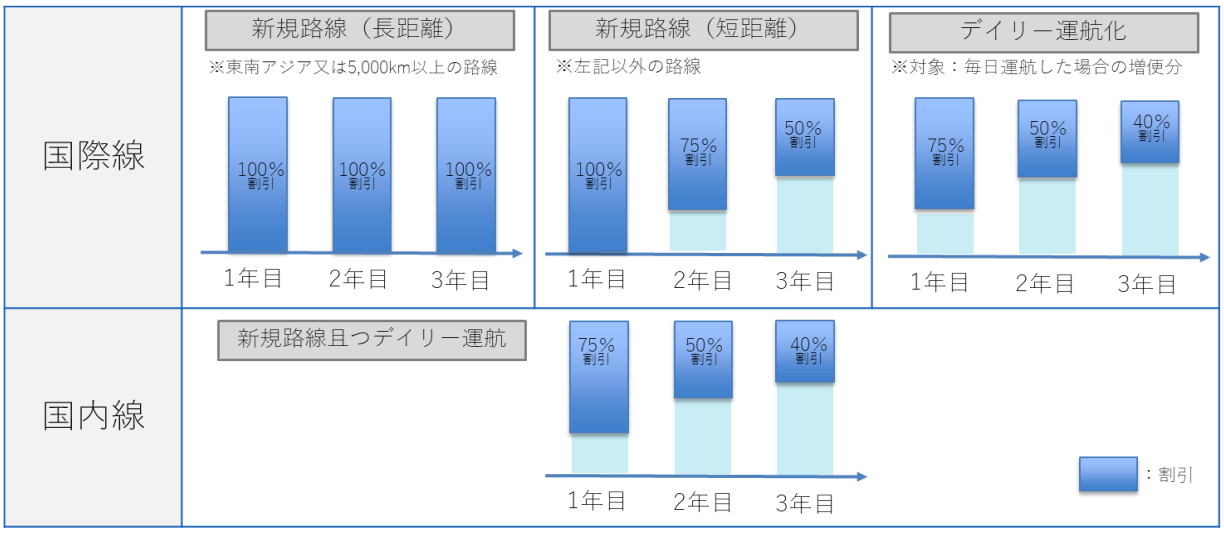
2020 年 3 月 30 日
福岡国際空港株式会社

福岡空港 着陸料等新料金体系の導入について

・福岡国際空港㈱（以下 FIAC）は、将来的な目標として旅客数 3,500 万人（国際：1,600 万人、国内：1,900 万人）、100 路線（国際：67 路線、国内：33 路線）を掲げています。
その実現に向けて、2020 年 4 月 1 日より新たな料金体系を導入し、騒音影響に配慮しつつ、更なる航空ネットワークの拡充を目指します。
・新料金体系のコンセプトは、「航空ネットワークの拡充につながる割引」「周辺地域への騒音影響への配慮」「就航判断が行いやすく、わかりやすい料金体系」です。
・FIAC としましては、民間企業の創意工夫を活かしたエアライン誘致を推進することで、福岡空港への就航意欲を喚起し、東南アジアの未就航路線や欧米豪の長距離路線の就航を実現し、交流人口拡大等による地域活性化に寄与してきたいと考えております。

【新料金体系のコンセプト】

（1）航空ネットワークの拡充につながる割引



（2）周辺地域への騒音影響への配慮

①着陸料のうち、航空機の騒音の大きさにより決まる金額の割合を増加し、低騒音機利用を促進
②限られた発着枠を有効活用できる大型機のうち、低騒音機に対し、1 万円/便を着陸料から割引
③夜間･早朝時間帯(22~翌 7 時の空港利用時間外)の離陸･着陸便に対する着陸料の割増(3 倍徴収)

（3）就航判断が行いやすく、わかりやすい料金体系

エアラインが、運航に伴うコスト（空港使用料）を予見しやすくなるようなビル施設使用料
→ 1 便ごとに料金が決まる便単価制度（単価×便数）

※ 詳細につきましては、別添資料をご参照ください。　　以 上

2020年度からの新料金体系の概要

福岡国際空港株式会社
FUKUOKA INTERNATIONAL AIRPORT CO.,LTD.

2020年3月30日

基本方針

FIAC
FUKUOKA INTERNATIONAL AIRPORT CO.,LTD.

騒音影響に配慮しつつ、
更なる航空ネットワークの拡充を目指します！

福岡空港は、将来的な目標として旅客数3,500万人（国際：1,600万人、国内：1,900万人）、100路線（国際：67路線、国内：33路線）を掲げています。

この実現に向けて、エアラインの新規路線就航を呼び込んでいく為に、新しい空港使用料の割引制度を導入するほか、就航判断を容易にするべく、エアラインがコスト（空港使用料）を予見しやすい料金体系に変更します。併せて、都市部に位置する福岡空港の特徴を踏まえ、低騒音機の利用を後押しする要素も盛り込みます。

空港使用料

- 着陸料
- 停留料
- 保安料
- ビル施設使用料

×

主要コンセプト

1．航空ネットワークの拡充につながる割引

2．周辺地域への騒音影響への配慮

3．就航判断が行いやすく、わかりやすい料金体系

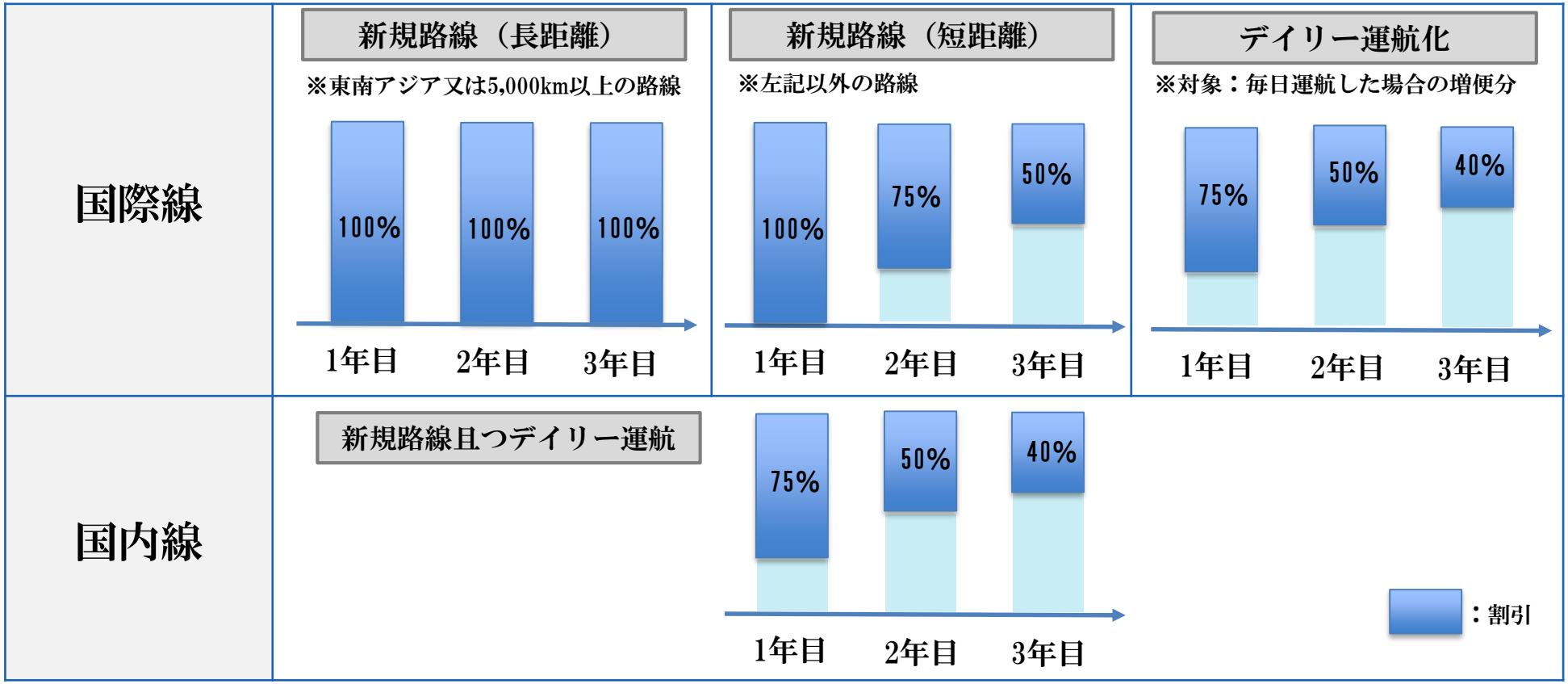
1．航空ネットワークの拡充につながる割引

FIAC
FUKUOKA INTERNATIONAL AIRPORT CO.,LTD.

概要

福岡空港への新規路線の就航及び定着や、利用者利便向上のためのデイリー運航促進に向けた空港使用料の割引制度（最長３年間）を新設

制度内容



２．周辺地域への騒音影響への配慮

FIAC
FUKUOKA INTERNATIONAL AIRPORT CO.,LTD.

概要

低騒音機の利用促進や夜間時間帯の騒音抑制に向けて、着陸料の体系を見直し

制度内容

①着陸料に占める騒音割合の増加

着陸料のうち、航空機の騒音の大きさにより
決まる金額の割合を増加し、低騒音機利用を促進

	＜現行料金＞	＜新料金＞
騒音	2	3
その他	8	7

②大型かつ低騒音機に対する割引

限られた発着枠を有効活用できる大型機のうち
低騒音機に対し、１万円/便を着陸料から割引

＜B787シリーズ＞

＜A350シリーズ＞

③夜間・早朝時間帯（22時～７時）の離陸・着陸に対する着陸料の割増

離着陸時間は7時～22時であり、夜間・早朝時間帯の離陸・着陸便に対し、着陸料を通常の３倍徴収し、空港周辺の地域共生事業等を充実

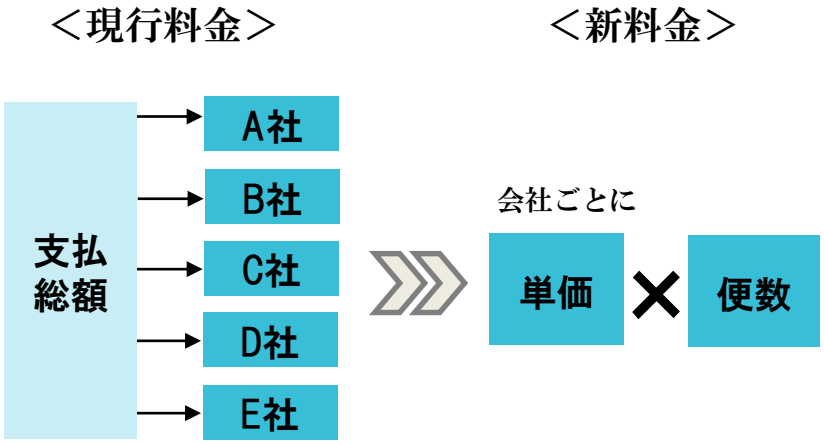
３．就航判断が行いやすく、わかりやすい料金体系

FIAC
FUKUOKA INTERNATIONAL AIRPORT CO.,LTD.

概要

エアラインが、運航に伴うコスト(空港使用料)を予見しやすくなるようにビル施設使用料の体系を変更

制度内容

事前に必要コストが予見できる、便単価制度へ変更

総額按分方式によりエアライン各社の支払額が決まるビル施設使用料から、１便ごとに料金が決まる便単価制度に変更